

(別添資料1)

事業所名		コラソンキッズ八王子				支援プログラム（参考様式）		作成日		2024 年		4 月		1 日					
法人（事業所）理念		コラソンとはスペイン語で「心」を意味します。「心」で接して「心」を育むという理念の下、利用児童が健やかに育つ環境を整え、また、利用児童やその家族が、地域の中で幸せに暮らせるように支援します。																	
支援方針		○児童発達支援○ 地域（子育て広場等）交流を行い、生活力やコミュニケーション能力の向上をはかります。ご家庭や幼稚園等の困り感を共有し、地域資源を活用しながら移行支援・就学支援につなげていきます。 ○放課後等デイサービス○ 進学・進級後の安定化をはかりながら、おこさまが安心して通える「第三の場所」として機能します。ご家庭での困り感を共有し、地域資源を活用しながら、移行支援や進学・進級への課題に取り組んでいきます。一人ひとりの特性に合わせた療育（支援）を提案させていただきます。																	
営業時間		9 時		30 分		から		18 時		0 分		まで		送迎実施の有無		あり		なし	
		支 援 内 容																	
本人支援	健康・生活	生活習慣の獲得：外から帰ったら手洗い・うがい。おやつの際のあいさつ、食器の下膳の習慣化 体調管理の把握：連絡帳の記載事項の確認、親御さんや学校の先生との情報交換、定時の検温、顔色や活動など、いつもと様子は変わらないか、一人ひとり細かくチェックします。																	
	運動・感覚	個々に合わせた戸外活動：身体能力などに合わせ、小さな活動から、近隣の公園やアスレチックのある公園で、たくさん身体を動かす活動まで、幅広く行っています。 個々に合わせた運動療育：微細運動（指先の動きなど）、粗大運動（トランポリンやバランスボールなど）を使い分け、個々の課題に応じた運動療育を提供します。																	
	認知・行動	周りを意識する力：特性に合わせ、視覚的にスケジュールを確認できるツールを活用。対照的に、ツールがなくても時計を見たり、周りを見て判断する力も身につけます。 自分の役割：おやつの前テーブルの消毒、お茶くみ、送迎の順番を発表する、帰りの挨拶をする、退室時に電気を消すなど。																	
	言語コミュニケーション	伝える力を身につける：ツールを活用するなど、特性に合わせたコミュニケーション方法を獲得する。伝わりやすい言い方を教え、繰り返すことで伝わる言い方を身につける。 自己決定能力をはぐくむ：自分が遊びたいおもちゃは何か。誰と過ごしたいのか。決める力、伝える力をはぐくみます。																	
	人間関係社会性	相手から見える自分：自分の気持ちを伝えるうえで、相手がいることも考えられるように支援します。意見の合わない相手との関りも、貴重な経験として扱います。 年齢に相應しい習慣や態度を身につける：一人ひとりの年齢を意識して接することで、年齢に応じた社会的ルールを身につけます。																	
家族支援		利用児童の事、ご家庭の事、学校・幼稚園（保育所）の事などについて、共有、交換したい情報がある都度、面談を行います。								移行支援		・移行先との連絡調整 ・児童館の利用 ・市民センターなどの公共の施設利用							
地域支援・地域連携		学校・幼稚園（保育所）、相談支援事業所や医療機関などの関係機関等と連携し、必要な支援を実施します。								職員の質の向上		・出前講座などを活用した社内研修 ・自治体などが行う外部研修への参加							
主な行事等		・保護者参加型の研修、保護者会の開催 ・駄菓子屋さんをよんで、駄菓子屋さん体験 ・自分たちでお店屋さんを作って体験 ・体験型施設や、水族館などへ遊びに行く ・公共施設の大部屋を活用して色々な遊びを体験する																	